

安心して子育てができる環境づくり

「白糠子育てアプリ♥イコロ」

本町では、子育て世代包括支援センター「イコロ」の開設と同じくして、

昨年10月1日から母子手帳アプリ「母子モ」を「白糠子育てアプリ♥イコロ」として導入しました。また、翌11月1日からは「母子モ」によるオンライン相談の運用を開始しました。

母子手帳アプリ「母子モ」とは、母子手帳を電子化したもので、従来の紙の母子手帳と併用することで、妊娠から出産、子育ての情報を記録・管理することが出来ます。スマートフォンやタブレット端末、パソコンに対応したサービスで、予防接種のスケジュール管理や出産・育児に関するアドバイス提供、離れた地域に住む祖父母など家族との情報共有、町が配信するさまざまな情報を受信することが出来るなど、便利な機能が充実しています。

本町は、この「母子モ」を活用して、安心して子育てができる環境づくりをサポートし「笑顔輝くまち」の実現を目指していきます。

今月は、蒼ちゃん(4歳)と滯ちゃん(1歳)を育てている照井千里さん(34歳)に「母子モ」について聞きました。

「母子モ」を活用することにしたのはどうしてでしょうか。

照井さん 保健師さんに勧められ、スマートフォンで「母子モ」を使えるようにしました。予防接種のスケジュールを管理するのは大変なのですが、この「母子モ」を使えば、自動的にスケジュールを管理することが出来るので、とても便利です。先日、スマートフォンに「予防接種予定日」のお知らせが届きました。事前通知があるので、予定日を忘れる心配がなく安心です。

——予防接種のスケジュール管理のほかに「母子モ」には、家族共有機能があり、子どもの成長記録を写真やコメント付きで記録し、それを家族で共有することが出来ます。

照井さん そうなんですか？それは知りませんでした。まだ使いこなせていませんね(笑)。お義母さんと「写真を共有できたらいいね」という話をしていたところなんです。私の両親は離れたところで暮らしていますので、そ

こでも孫の成長が見られるというのはとても良い機能ですね。きつと喜ぶと思います。

——今回初めて「母子モ」でオンライン相談を行いました。実際に活用してみて、どのように感じましたか。

照井さん テレビ電話のような感じで相手の顔が見えるので、思っていたよりも互いの距離が近いと感じました。安心感がありましたね。直接会って顔を合わせながら、同じ空間で話した方がいいとは思いますが、今はコロナ禍により、相談したいことがあっても子どもを連れて役場へ行くことができないこともあり、こういう環境があるのは、とてもいいことだと思います。

——「母子モ」を活用する上での課題はありますか。

照井さん 私の家は和天別で酪農をやっているのですが、電波が悪く通信ができません。ですので、今回は公民館を利用したのですが、インターネット環境が整っていないければ、利用できないのが欠点だと思います。これからは山間部地域もインターネットの整備が

ママ♥こっこ広場

月1回程度、妊婦さんと子育て中の保護者が集まり、情報交換や育児相談等をする交流の場を設けています。毎回、いろいろなテーマで開催していますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。



ママ♥こっこ広場では、赤ちゃんのおやつ作りなども行っています。希望があれば、離乳食教室なども開催します。

ファミリーサポート

ファミリーサポートとは、一時的に子どもの世話をお願いしたい方(依頼会員)と子育ての手助けをする方(提供会員)による事業です。事業を利用するためには、会員登録が必要ですが、興味のある方は、子育て支援センター ☎5-8251まで